

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
メディカルアロマテラピー Medical Aromatherapy		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(特になし)	医療事務・メンタルヘルスフィールド学生対象
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
小竹仁美	講義棟3階	木・金（授業時間と学生相談時間を除く）		授業中に指示します
授業の概要				
天然の植物から採れる精油を使って行うアロマテラピーは、日本ではリラクゼーション分野から広まったが、近年では代替・補完医療としても認知されるようになってきている。この授業では香りを楽しみつつ、香りが心と身体に与える影響について知識を習得し、生活に取り入れる方法や心身の健康に役立てる方法を実習する。				
授業の目標				
①精油の安全な使い方やアロマテラピーについて説明できるようにする。②クラフトを通してメンタルヘルスやストレスの緩和などにアロマテラピーを活用できるようにする。				
授業の方法				
講義形式と実習形式。				
学習の成果（学習成果）				
①精油の安全な使い方やアロマテラピーとその利用分野について説明できる。②心身の健康や日常生活にアロマテラピーを役立てることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス アロマテラピーについて 香りのイメージ体験			
第2回目	精油が作用するメカニズム 精油の基礎知識 精油の製造法			
第3回目	精油の作用 精油の正しい選び方 芳香浴の仕方			
第4回目	精油の説明① アロマバスの楽しみ方			
第5回目	精油の説明② 精油の安全な使い方 小テスト①			
第6回目	安全な使い方復習 ハウスキーピングへの利用法			

第7回目	キャリアオイルの説明	トリートメントオイル作り	ハンドマッサージの実習
第8回目	心身の健康とアロマセラピー（身体編）		
第9回目	心身の健康とアロマセラピー（心理編）		
第10回目	基材の説明	バスボム作り	小テスト②
第11回目	精油のブレンドの知識		
第12回目	アロマキャンドル作り①		
第13回目	アロマキャンドル作り②		
第14回目	アロマセラピーに関する法律	小テスト③	
第15回目	アロマと空間		
事前・事後学習	配布資料を読む。実習を基に小レポートを書く。		
成績評価の方法と基準			
評価の領域		割合	評価の基準
授業参加態度		30%	授業に意欲的に取り組む。
レポート		20%	授業で学んだ知識に基づき、テーマに応じて的確に書いている。
調査報告書			
小テスト		20%	正誤問題の小テストを実施する。得点率によって評価する。
試験		30%	知識を問う正誤問題および説明問題を実施する。
発表内容（態度含む）			
その他			
教科書と参考図書			
資料を配布する。 参考図書 『アロマセラピー検定公式テキスト2級』（日本アロマ環境協会）			
履修上の留意点・ルール			
配布した資料を毎回持参する。 実習のための材料費は自己負担である（4,000～5,000円程度）。			